



発行所 ©産業経済新聞東京本社2011
〒100-8160 東京都千代田区大手町1-7-2
TEL (03) 3231-7111大代表
<昭和44年2月28日第3種郵便物認可>
2011年(平成23年)

130円
(消費税込み)

8月2日(火)
発行・1日

タリフジ

ザ・タイガースの 意気軒昂

還暦すぎて
本格復活!

チケット即売売、プレミアムSP10倍



往年のGSファンにとつては、まさに奇跡といつてもいいザ・タイガースの復活がスゴイことになっている。9月8日の東京国際フォーラムを皮切りに展開される全国31カ所のチケットは、あっという間に完売した。「これほど勢いがある売れ方は、最近ではサザンオールスターズ以来じゃないかな。プレミアがついて価格が10倍になった地区もあるらしい」そう驚くのは、地方のイベント関係者。

解散から40年。熟年になったファンが熱狂するコンサートの正式なタイトルは、「沢田研二LIVE2011〜2012」。ジュリーこと沢田研二(63)のライブに、元メンバーの瞳みのる(64、ピー)、森本太郎(63、タロー)、岸部一徳(64、サリー)が参加する形で、「全編 ザ・タイガースの楽曲」(関係者)を演奏して完全復活のステージを見せるのだ。

「いやあ、毎日練習で

解散から40年

大変ですよ。チケットはすべて売り切れました。ですから記者会見が必要ないようです。あとは本番だけです」そう話すのはタロー。タイガースは1967年、「僕のマリー」でデビュー、「シーサイドバウンド」で人気に火がつ

き当時の日劇は超満員。「とくに『モナリザの微笑』で爆発的な人気を得て、瞬く間にGSブームの頂点に立った。その熱狂ぶりはビートルズにも匹敵したほどでした」

と振り返るのは、芸能評論家の肥田正明氏。しかし、日本の音楽史に名前を刻んだわりには、GSブームは長くなかった。71年1月24日に日本武道館で事実上の解散。ジュリーがソロに転身して、各メンバーは別々の道を歩んだ。



沢田研二のコンサートに瞳みのる(右)らが合流する形で、ザ・タイガースが完全復活する

81年には、慶応高校で漢文教師をしていたピーを除くメンバーで何度か「同窓会」としてコンサートを開き、82年には「色つきの女でいてくれよ」が大ヒット。だが、このとき本人たちは「再結成」という表現を使わ

なかった。ピーを加えた今回が初めての再結成となる。復活のきっかけは2008年暮れに解散後初めて全員が集合したこと。ピーは「こいつらが一生の親友だとわかった」とコメントしている。さらに「ピーの息子は、父親が本場にザ・タイガースのメンバーだったことを信じない。それじゃ、当時の姿を息子に見せたくない」が参加することになった」と、音た

タローは、「みんな張り切って練習していますよ」と意気込みを明かした。

今なら全品 配達料金無料!!
ヨドバシネットコム
www.yodobashi.com